

[成果情報名] アルストロメリアの有望品種

[要約] アルストロメリアの夏期地中冷却・冬期加温作型において、「イーグル」、「バニラ」、「BB103-04」、「23723-1」は定植1年目の収量、切り花品質から判断して有望な品種である。

[キーワード] アルストロメリア、品種比較

[担当] 農業研究部花きグループ

[代表連絡先] 電話 0977-66-4706

[研究所名] 大分県農林水産研究指導センター

[分類] 研究成果情報

[背景・ねらい]

アルストロメリアの切り花生産では、生産性および市場性の高い品種を導入することが重要である。そこで、大分県内で広く普及している地中冷却および灌水同時施肥の栽培条件下で、新品種の開花特性等を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 年間採花本数が最も多い品種は「イーグル」の123(本/株)で、「BB103-04」の117本(本/株)と「バニラ」の95(本/株)がそれに続いた。また、年内採花本数では「イーグル」、「コモド」、「23723-1」、「ヒラド」が多い(表1)。

2. 切り花品質で秀品率の高い品種は、「YE171-30」、「BB116-03」、「XE028-02」、「バニラ」の順で、「パクシー」は低い。「XE028-02」、「コモド」、「ドミンゴ」では曲がり、「26134-1」、「コモド」、「ティエスト」、「パクシー」でブラッシングが、「パクシー」、「YE098-01」で葉焼けがそれぞれ多発する(表1)。

3. 以上のことから、年間採花本数および年内採花本数、切り花品質等から判断して「イーグル」、「バニラ」、「BB103-04」、「23723-1」が有望品種と考えられる(表1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本成果は1条植え(定植本数1450本/10a)、灌水同時施肥栽培(窒素施肥量90kg/10a)で得られた結果である。地中冷却は、地下5cmに20cm間隔で2本の冷却管を埋設し8℃の水を2010年6月15日から10月31日まで終日循環させた。

2. 単年度試験の成績である。

[具体的データ]

表1 採花本数および秀品率、諸形質等

品種名	年内採花本数 (本/株)	年間採花本数 (本/株)	秀品率 (%)	切花重 (g)	茎径 (mm)	花梗数 (本)	花梗長 (cm)	曲がり 発生率(%)	プラスチング 発生率(%)	葉焼け 発生率(%)
18619-2	3	23	91	64.7	6.5	4.8	6.2	2	4	0
23723-1	13	68	92	82.1	6.8	5.9	9.3	8	15	2
26134-1	4	24	79	71.2	6.2	4.9	5.1	10	23	4
33019-1	10	35	89	61.5	6.6	5.1	7.9	11	3	4
BB050-04	5	75	91	47.4	5.2	4.7	9.3	0	6	3
BB103-04	1	117	85	51.6	5.2	4.3	10.8	9	1	5
BB116-03	0	46	96	85.4	7.1	9.8	6.4	11	2	7
WE527-13	0	17	94	58.6	6.2	5.4	5.7	0	0	0
XE028-02	0	28	96	58.8	6.2	4.9	11.7	14	4	7
YE098-01	2	84	89	66.6	6.2	4.0	11.8	4	4	11
YE171-30	0	2	100	53.0	5.8	4.8	5.9	0	0	0
ZE072-01	0	66	82	56.2	5.3	4.2	7.0	9	4	0
アズーロ	2	25	88	79.7	6.8	5.1	7.2	0	8	2
イーグル	14	123	86	73.9	6.2	5.9	9.7	13	4	1
コモド	13	25	90	75.2	6.6	6.4	18.7	14	18	0
サンチャゴ	2	28	91	79.3	6.1	6.5	6.1	5	9	2
ジュリア	3	53	86	72.3	5.5	6.1	7.4	11	11	1
ティエスト	5	29	79	71.1	6.2	6.6	10.1	9	16	5
ディオール	3	26	88	84.8	6.6	6.9	8.2	4	10	8
ドミンゴ	9	42	87	54.2	5.8	5.3	9.7	14	12	1
パクシー	2	13	76	57.6	5.8	3.9	7.6	0	16	28
バニラ	10	95	95	62.6	5.9	5.2	13.6	6	1	0
ヒラド	13	66	84	89.4	6.9	7.4	10.7	8	8	1
ピンクサブライズ	6	29	93	70.8	6.5	7.0	7.8	9	2	7
プリマベラ	3	52	91	83.5	6.6	6.2	9.0	7	3	0
プロビータ	6	52	91	74.3	6.6	7.8	11.3	11	6	3
フロリアーノ	7	60	82	71.9	6.3	5.5	7.9	7	9	7
ボルネオ	6	43	92	49.7	5.5	5.1	9.1	8	0	0
メモリー	3	42	92	79.6	6.5	7.8	8.7	5	8	2
オルガ(対照)	25	113	79	56.3	5.6	4.8	8.9	9	8	3

注1) 調査期間は2010年10月1日～2011年5月31日。

注2) 秀品率とは切花を達観で品質の高いものから1, 2, 3, 4で評価し、そのうち品質1, 2が年間採花本数に占める割合のこと。

注3) 曲がり、プラスチング、葉焼けは年間採花本数に占める発生した本数の割合。

(大分県農林水産研究指導センター)

[その他]

研究課題名：アルストロメリアの有望品種の選定と省力施肥技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2010～2011年度

研究担当者：後藤愛、松成茂